

# 現況と今後の展望（決算説明会資料）



ラウンドワンノースウッド店  
米国 イリノイ州  
2017年11月18日オープン！

株式会社ラウンドワン

代表取締役社長 杉野 公彦

東京証券取引所 市場第1部

Code Number: 4680

2018年5月8日

# 連結決算の分析① 2018年3月期実績【前年対比】



(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2017年3月期実績 (2016.4~2017.3)	2018年3月期実績 (2017.4~2018.3)	増減率 (%)
店舗	期末店舗数 ①	店舗数	122	129	+5.7
	期中店舗稼働月数	月数	1,452	1,496	+3.0
損益	ボウリング		229.1	245.2	+7.0
	アミューズメント		405.3	453.4	+11.9
	カラオケ (米国はその他含む)		91.3	98.4	+7.9
	スポッチャ		122.7	132.8	+8.3
	その他		29.2	29.0	△0.8
	総売上		877.7	959.1	+9.3
	売上原価		788.4	830.6	+5.4
	売上総利益		89.3	128.4	+43.7
	販売費及び一般管理費		22.5	23.0	+2.3
	営業利益		66.8	105.3	+57.7
	営業外損益		△8.2	△2.6	+67.3
	経常利益 ②		58.5	102.6	+75.3
	売上高経常利益率		6.7%	10.7%	—
	特別損益 ③		△22.7	△10.9	+51.6
税引前当期純利益		35.8	91.6	+155.7	
法人税等		8.5	7.5	△10.9	
当期純利益		27.3	84.1	+207.5	

## ①【店舗数の増減】

国内: +1店舗 出店(1店舗)

米国: +6店舗 出店(6店舗)

## ②【経常利益の差異要因】

2017年3月期決算実績	経常利益	58.5億円
【国内】国内売上増加		+38.0億円
ボウリング販促費減少		+3.6億円
水道光熱費減少		+3.1億円
通信費減少		+3.2億円
営業外費用(為替差損)減少		+3.7億円
消耗品費減少		+0.7億円
AM販促品(景品等)増加		△10.3億円
人件費増加		△4.9億円
その他		+2.1億円
【米国】米国損益下表※		+4.9億円
2018年3月期決算実績	経常利益	102.6億円

## ※【米国損益の状況】

	2017年3月期実績	2018年3月期実績	増減
売上	72.5億円	115.7億円	43.2億円増収
費用	68.0億円	106.4億円	38.3億円増加
経常利益	4.4億円	9.3億円	4.9億円増益

## ③【特別損益の内訳】

2017年3月期実績 特別損益 △22.7億円

- ・減損損失 △14.8億円
- ・退店損失 △4.2億円
- ・固定資産除却損(アミューズメント基板他) △3.6億円

2018年3月期実績 特別損益 △10.9億円

- ・減損損失 △7.1億円
- ・固定資産除却損(アミューズメント基板他) △3.8億円

# 連結決算の分析② 2018年3月期実績【計画対比】



(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2018年3月期計画 (2017.4~2018.3) ※2018年2月9日開示	2018年3月期実績 (2017.4~2018.3)	増減 (%)
店舗	期末店舗数 ①	店舗数	132	129	△2.3
	期中店舗稼働月数 ①	月数	1,497	1,496	△0.1
損益	ボウリング		244.9	245.2	+0.1
	アミューズメント		453.5	453.4	△0.0
	カラオケ (米国はその他含む)		98.7	98.4	△0.2
	スポッチャ		131.5	132.8	+1.0
	その他		29.2	29.0	△0.9
	総売上		958.0	959.1	+0.1
	売上原価		838.9	830.6	△1.0
	売上総利益		119.0	128.4	+7.9
	販売費及び一般管理費		21.9	23.0	+4.8
	営業利益		97.0	105.3	+8.5
	営業外損益		△3.7	△2.6	+28.1
	経常利益 ②		93.3	102.6	+10.0
	売上高経常利益率		9.7%	10.7%	—
	特別損益		△17.2	③ △10.9	+36.3
	税引前当期純利益		76.0	91.6	+20.5
法人税等 ※		20.1	7.5	△62.3	
当期純利益		55.9	84.1	+50.3	

## ①【増減】

期末店舗数: △3店舗(米国出店時期の変更)

期中稼働月数: △1ヶ月(国内+1ヶ月 米国△2ヶ月)

## ②【経常利益の差異要因】

2018年3月期計画	経常利益	93.3億円
【国内】	国内売上増加	+3.3億円
	リース費用減少	+3.2億円
	消耗品費減少	+1.1億円
	水道光熱費減少	+1.1億円
	AM販促品費(景品等)増加	△2.7億円
	人件費増加	△1.1億円
	減価償却費減少(リース除く)	+0.9億円
	その他	+1.2億円
【米国】	米国売上減少	△2.2億円
	会計処理方法の変更※	+1.8億円
	AM販促品(景品等)減少	+1.1億円
	人件費減少	+0.8億円
	その他	+0.8億円
2018年3月期実績	経常利益	102.6億円

## ③【特別損益の内訳】

2018年3月期実績 特別損益 △10.9億円

・減損損失 △7.1億円

・固定資産除却損(アミューズメント基板他) △3.8億円

※法人税等、米国会計処理方法の変更の詳細は次ページにて記載

# 連結決算の分析③ 2018年3月期実績【計画対比】の補足



## 【法人税等12.5億円の減少要因】

(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

	2018年3月期 計画	2018年3月期 実績	増減率
国内	17.8億円	7.2億円	△59.5%
米国	2.2億円	0.3億円	△85.3%
連結	20.1億円	7.5億円	△62.3%

※欠損金とは課税所得がマイナスのこと。

### 《国内》

※直近の業績が好調な事から、従来資産計上する事が出来なかった将来回収可能な欠損金(過去の税務上の赤字部分)を新たに資産計上した事等により法人税等が10.6億円抑えられた。

### 《米国》

※米国の直近の税制改正の影響等を考慮し税効果会計を再検討した結果、法人税等が1.9億円抑えられた。

## 【米国の会計処理の変更について】

米国子会社の売上規模、利益が大きくなってきたことに伴い、監査法人と協議の上、**米国会計基準**に準ずる方式に変更。

2018年3月期実績 1.8億円 費用減

### 【内訳】

①アミューズメントリース機器の耐用年数の変更 3年 ⇒ 7年

米国での使用実態に即した耐用年数に修正 2018年3月期実績 8.5億円 費用減

②工事期間中の賃料を計上

従来、契約書に記載の資金の流れと同様の会計処理(例 工事期間中約6ヶ月は無償、その後10年間は賃料を計上)を行っていたが、工事期間中にその後支払う賃料を按分して費用処理 2018年3月期実績 3.3億円 費用増

③リデンプションポイントの引当金を計上

従来、景品交換前のポイント獲得時には費用計上を行っていなかったが重要性が増したことから当期より引当金の計上を実施  
2018年3月期実績 3.4億円 費用増

※2017年3月期の会計処理と同様だった場合、2018年3月期実績 連結 経常利益:100.8億円 / 2019年3月期計画 連結 経常利益:104.9億円

# 2019年3月期 連結計画 出退店数と損益



(単位:億円) ※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

		単位	2018年3月期			2019年3月期					
			連結	国内	米国	連結		国内		米国③	
			実績	実績	実績	計画	増減率(%)	計画	増減率(%)	計画	増減率(%)
店舗 ①	新規出退店数	店舗数	+7	+1	+6	+9	+28.6	△2	—	+11	+83.3
	総店舗数(期末)	店舗数	129	108	21	138	+7.0	106	△1.9	32	+52.4
	【内訳】所有店舗(土地建物及び建物躯体)	店舗数	24	24	—	24	—	24	—	—	—
	賃借店舗(内装のみ)	店舗数	105	84	21	114	+8.6	82	△2.4	32	+52.4
	総店舗稼働月数	月数	1,496	1,290	206	1,575	+5.3	1,270	△1.6	305	+48.1
損益	ボウリング	億円	245.2	227.2	17.9	249.0	+1.5	225.0	△1.0	24.0	+33.7
	アミューズメント	億円	453.4	377.0	76.4	496.7	+9.6	382.3	+1.4	114.4	+49.8
	カラオケ(米国はその他含む)	億円	98.4	77.0	21.3	106.1	+7.7	76.6	△0.6	29.5	+38.0
	スポッチャ	億円	132.8	132.8	—	133.5	+0.5	133.5	+0.5	—	—
	その他	億円	29.0	29.0	—	28.6	△1.4	28.6	△1.4	—	—
	総売上	億円	959.1	843.3	115.7	1,014.0	+5.7	846.0	+0.3	168.0	+45.1
	営業利益	億円	105.3	94.9	10.4	115.5	+9.6	96.3	+1.5	18.5	+77.4
	経常利益	億円	102.6	93.3	9.3	110.0	+7.1	94.2	+0.9	15.8	+69.4
	売上高経常利益率	%	10.7%	11.1%	8.1%	10.8%	—	11.1%	—	9.4%	—
	特別損失②	億円	△10.9	△10.9	—	△13.1	△19.2	△9.4	+13.8	△3.6	—
	税引前当期純利益	億円	91.6	82.3	9.3	96.9	+5.7	84.7	+2.9	12.1	+30.5
法人税等④	億円	7.5	7.2	0.3	33.7	+344.9	30.0	+314.5	3.6	—	
当期純利益	億円	84.1	75.1	8.9	63.2	△24.9	54.7	△27.2	8.5	△5.5	

(注) ① 2018年3月期**実績**: 出店店舗(国内1店舗、米国6店舗)、2019年3月期**計画**: 出店店舗(国内1店舗、米国11店舗) 退店店舗(国内3店舗)

② 特別損失の内訳:

【2018年3月期**実績**】減損損失△7.1億円(国内11店舗)、アミューズメント基板除却等△3.8億円

【2019年3月期**計画**】減損損失△9.1億円(国内6店舗△5.4億円、米国1店舗△3.6億円)、アミューズメント基板除却等△4.0億円

③ 米国計画については1ドル=109円換算しております。

④ 法人税等については6項を参照ください。

※2019年3月期計画では連結調整を行っている為、国内計画と米国計画の営業利益の合計は連結計画と一致しません。

# 2019年3月期計画 策定根拠①



## 【国内売上 2.7億円増収の主な要因（対前期）】

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

◆既存店前年対比年間+0.2%を設定	1.6億円増	(前期実績 833.1億円 ⇒ 当期計画 834.7億円)
◆新規店舗（12ヶ月未満稼働店舗）	11.0億円増	(前期実績 ー億円 ⇒ 当期計画 11.0億円)
◆退店店舗（3店舗、34ヶ月分稼働月数減少）	10.1億円減	(前期実績 10.1億円 ⇒ 当期計画 ー億円)

## 【国内費用 1.9億円増加の主な要因（対前期）】

◆新規店舗（12ヶ月未満稼働店舗）コスト増加	8.9億円増	(前期実績 ー億円 ⇒ 当期計画 8.9億円)
増加要因 ◆AM販促品費（景品等）増加	5.3億円増	(前期実績 65.3億円 ⇒ 当期計画 70.7億円)
◆AM消耗品費	1.8億円増	(前期実績 7.3億円 ⇒ 当期計画 9.1億円)
減少要因 ◆リース費用	3.8億円減	(前期実績 71.9億円 ⇒ 当期計画 68.1億円)
◆退店店舗（3店舗）コスト減少	10.1億円減	(前期実績 10.1億円 ⇒ 当期計画 ー億円)

## 【米国損益 6.4億円増益の主な要因（対前期）】

◆期中稼働月数の増加	7.6億円増益	(前期実績 206ヶ月 ⇒ 当期計画 305ヶ月)
◆リデンプションポイント費用処理の前期影響額減少	3.4億円増益	
◆工事期間中の賃料計上	1.1億円減益	
◆初期投資金額の増加	3.2億円減益	

## 【連結特別損益 2.1億円減益の主な要因（対前期）】

◆減損見込2.0億円増額 前期実績7.1億円（減損 国内11店舗）⇒ 当期計画9.1億円（減損 国内6店舗、米国1店舗）

## 2019年3月期計画 策定根拠②



### 【連結法人税等26.1億円増加の主な要因（対前期）】

2018年3月期法人税等影響額	12.5億円増	（前期実績 $\Delta$ 12.5億円 $\Rightarrow$ 当期計画 一億円）
増加要因 法人税等の支払額増加	1.5億円増	（前期実績 16.1億円 $\Rightarrow$ 当期計画 17.6億円）
繰越欠損金の減少等による繰延税金資産の減少	12.1億円増	（前期実績 一億円 $\Rightarrow$ 当期計画 12.1億円）

※欠損金とは課税所得がマイナスのこと。

2018年3月期は新たに将来回収可能となった欠損金を資産計上する事で、税金費用が抑えられた。

しかしながら、2019年3月期は引き続き税務上黒字となることから、資産計上した欠損金を取り崩すこととなる為税金費用が増加する事となる。

# 国内売上及び国内既存店前年対比（実績と計画）



## 2018年3月期実績 国内売上及び国内既存店前年対比

店舗数は15頁、18頁を参照してください。

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

	単位		第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比
			ポウリング	億円	%	51.3	+5.0	56.2	+9.8	107.5	+7.4	50.8	+6.7	68.8	+3.9	119.7
アミューズメント	億円	%	84.8	+0.6	102.8	+7.4	187.6	+4.2	92.0	+9.7	97.3	+2.3	189.3	+5.8	377.0	+5.0
カラオケ	億円	%	17.2	△2.0	20.2	+4.3	37.4	+1.3	18.6	+2.7	20.9	+1.3	39.6	+1.9	77.0	+1.6
スポッチャ	億円	%	29.5	+9.4	34.6	+9.5	64.1	+9.4	27.9	+10.0	40.7	+4.7	68.7	+6.8	132.8	+8.1
その他	億円	%	7.0	+0.6	7.5	+4.3	14.5	+2.4	6.9	+1.7	7.4	△3.3	14.4	△0.9	29.0	+0.7
総売上	億円	%	189.8	+2.8	221.5	+7.9	411.3	+5.5	196.5	+8.0	235.3	+2.9	431.9	+5.2	843.3	+5.3
各期末 国内全店舗／既存店舗			107／106		108／106		108／106		108／107		108／107		108／107		108／107	

## 2019年3月期計画 国内売上及び国内既存店前年対比

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

	単位		第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比
			ポウリング	億円	%	51.2	+0.1	55.8	△0.8	107.1	△0.4	49.6	△1.0	68.2	+0.3	117.9
アミューズメント	億円	%	83.4	△1.5	107.1	+3.7	190.5	+1.3	94.0	+2.2	97.6	+0.2	191.7	+1.2	382.3	+1.3
カラオケ	億円	%	17.1	△1.2	19.9	△2.6	37.1	△2.0	18.4	△1.6	21.0	+0.3	39.5	△0.6	76.6	△1.3
スポッチャ	億円	%	29.7	+0.9	34.7	△1.2	64.5	△0.2	27.8	△2.5	41.1	△0.8	69.0	△1.5	133.5	△0.9
その他	億円	%	6.9	△1.4	7.4	△1.0	14.4	△1.2	6.7	△1.8	7.4	+1.2	14.2	△0.2	28.6	△0.7
総売上	億円	%	188.5	△0.7	225.1	+1.1	413.6	+0.3	196.7	+0.2	235.5	+0.1	432.3	+0.1	846.0	+0.2
土日祝回数前年対比	日数		±0		±0		±0		△1		+1		±0		±0	
各期末 国内全店舗／既存店舗			105／104		106／104		106／104		106／105		106／105		106／105		106／105	



# 米国売上及び米国既存店前年対比（実績と計画）



## 2018年3月期実績 米国売上及び米国既存店前年対比 前年対比はドル比較

店舗数は15頁、16頁、18頁を参照してください。

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

	単位		第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比
			ポウリング	億円	%	3.9	+3.5	4.2	+6.8	8.2	+5.2	4.4	△1.3	5.2	+1.6	9.7
アミューズメント	億円	%	15.4	+6.9	18.1	+8.9	33.6	+8.0	18.2	+0.3	24.4	+7.5	42.7	+4.4	76.4	+6.0
カラオケその他※	億円	%	4.4	+8.3	4.7	+15.0	9.1	+11.8	5.5	+1.6	6.6	+4.6	12.2	+3.3	21.3	+6.8
総売上	億円	%	23.9	+6.6	27.1	+9.6	51.0	+8.2	28.3	+0.3	36.3	+6.0	64.7	+3.5	115.7	+5.6
各期末 米国全店舗／既存店舗			15／10		17／11		17／11		19／11		21／13		21／13		21／13	
ドル換算レート	円		111.0		111.0		111.0		111.6		110.8		110.8		110.8	

## 2019年3月期計画 米国売上及び米国既存店前年対比 前年対比はドル比較

※0.1億円未満切捨、%は四捨五入表示

	単位		第1四半期		第2四半期		上期		第3四半期		第4四半期		下期		通期	
			売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比	売上	前年比
			ポウリング	億円	%	5.1	△2.2	5.9	△2.0	11.0	△2.1	5.5	△3.7	7.3	+1.9	12.9
アミューズメント	億円	%	23.1	△0.1	28.5	△0.8	51.7	△0.5	25.9	△2.6	36.7	+1.3	62.6	△0.4	114.4	△0.4
カラオケその他※	億円	%	5.9	△0.3	6.9	+0.0	12.8	△0.1	7.0	△2.0	9.5	+3.9	16.6	+1.2	29.5	+0.6
総売上	億円	%	34.3	△0.5	41.4	△0.8	75.7	△0.7	38.5	△2.6	53.7	+1.8	92.2	△0.1	168.0	△0.4
各期末 米国全店舗／既存店舗			23／15		26／16		26／16		30／19		32／20		32／20		32／20	

【注意】売上は、1ドル=109円で算出しております。

※カラオケその他売上の大部分は飲食収入であります。

# 2019年3月期 連結計画 キャッシュ・フロー



※0.1億円未満切捨表示

		単位	2018年3月期実績	2019年3月期計画
資金	当期純利益	億円	84.1	63.2
	法人税等（引当・納付・還付・未収還付を合算表示）①	億円	+5.1	+9.4
	資金の流出を伴わない損失（減損損失等）	億円	+17.2	+17.5
	配当金額	億円	△19.0	△19.0
	減価償却費（リース取引を除く）②	億円	+40.2	+44.7
	簡易キャッシュ・フロー	億円	+127.7	+115.8
	設備投資額（リース取引を除く）③	億円	△64.3	△83.7
	簡易フリーキャッシュ・フロー	億円	+63.4	+32.1
	現預金残高	億円	234.3	242.6
	有利子負債残高（リース債務除く）	億円	137.1	113.2
実質有利子負債残高	億円	△97.2	△129.3	

(注)① 2018年3月期実績の法人税等 +5.1億円の内訳

◆引当分+7.5億円 還付分 +3.8億円 支払分 △6.2億円

② 2018年3月期実績の減価償却費・・国内:25.6億円/米国:14.6億円

③ 2018年3月期実績の設備投資額 △64.3億円の内訳

◆新規店舗:39.8億円(国内:1店舗/6.7億円 米国:6店/33.1億円)

◆既存店舗:24.4億円(国内:22.4億円 米国:2.0億円)改装他

2019年3月期計画の法人税等 +9.4億円の内訳

◆引当分 +33.7億円 支払分 △24.2億円

2019年3月期計画の減価償却費・・国内:24.5億円/米国:20.1億円

2019年3月期計画の設備投資額 △83.7億円の内訳

◆新規店舗:63.7億円(国内:1店舗/6.0億円 米国:9店舗/57.7億円)

◆既存店舗:20.0億円(国内:19.5億円 米国:0.5億円)改装他

# 損益推移



## 損益の推移（連結）

（単位未満は切り捨て表示）

3月期	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年計画
期末店舗数	105	109	110	113	114	118	122	122	129	138
総売上	821億円	843億円	895億円	859億円	842億円	839億円	835億円	877億円	959億円	1,014億円
経常利益	78億円	69億円	114億円	82億円	78億円	61億円	54億円	58億円	102億円	110億円
経常利益率	9.6%	8.2%	12.8%	9.6%	9.3%	7.3%	6.5%	6.7%	10.7%	10.8%
当期純利益	33億円	△126億円	27億円	6億円	△197億円	△45億円	4億円	27億円	84億円	63億円
ROI(投下資本利益率)①	3.5%	2.9%	5.0%	4.0%	5.1%	5.9%	5.9%	6.8%	12.0%	12.3%
ROA(総資産利益率)②	1.5%	△5.0%	1.2%	0.3%	△11.8%	△3.8%	0.4%	2.7%	8.1%	5.7%

①ROI計算式：経常利益 ÷ [(期首純資産 + 期末純資産) ÷ 2] + [(期首リース債務含有利子負債 + 期末リース債務含有利子負債) ÷ 2]

②ROA計算式：当期純利益 ÷ [(期首総資産 + 期末総資産) ÷ 2]

## 損益の推移（国内）

3月期	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年計画
期末店舗数	105	108	109	111	111	113	113	107	108	106
総売上	821億円	839億円	890億円	851億円	829億円	819億円	783億円	805億円	843億円	846億円
経常利益	78億円	70億円	114億円	82億円	78億円	62億円	51億円	54億円	93億円	94億円
経常利益率	9.6%	8.3%	12.8%	9.7%	9.4%	7.6%	6.6%	6.7%	11.1%	11.1%
当期純利益	33億円	△125億円	27億円	6億円	△196億円	△44億円	2億円	28億円	75億円	54億円

## 損益の推移（米国）

3月期	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年計画
期末店舗数		1	1	2	3	5	9	15	21	32
総売上		3億円	5億円	7億円	12億円	19億円	51億円	72億円	115億円	168億円
経常利益		△0億円	0億円	△0億円	△0億円	△0億円	2億円	4億円	9億円	15億円
経常利益率		—	2.6%	—	—	—	4.7%	6.1%	8.1%	9.4%
当期純利益		△0億円	0億円	△0億円	△0億円	△0億円	2億円	△1億円	8億円	8億円

# 既存店売上前年比の推移(国内)

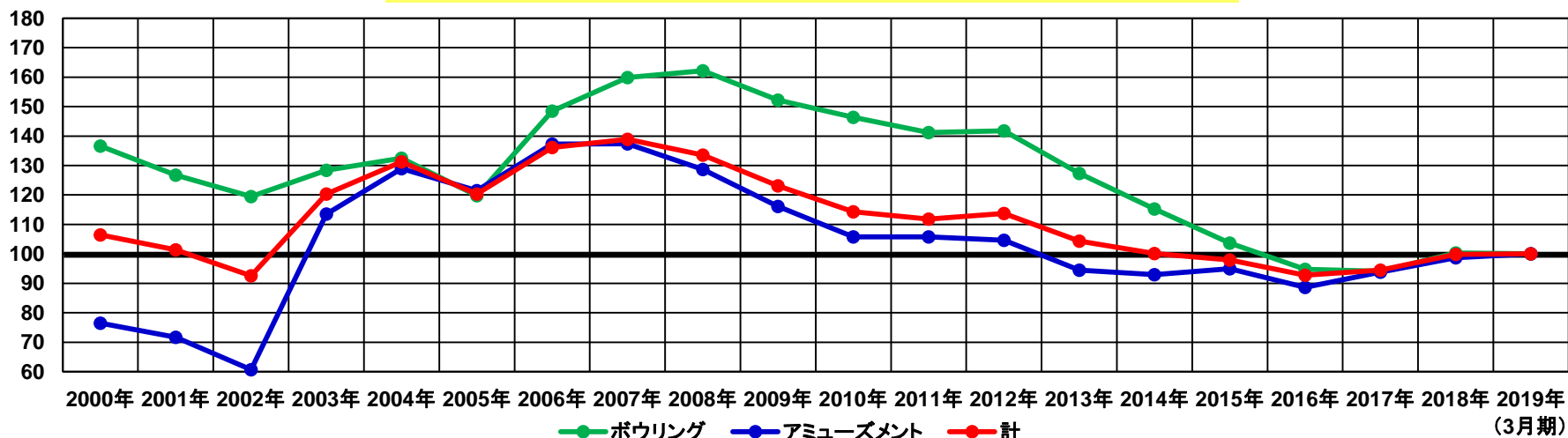


(単位は%)

3月期	2000年	2001年	2002年	2003年	2004年	2005年	2006年	2007年	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 計画
ボウリング	△10.2	△7.8	△6.1	+7.0	+3.1	△10.7	+19.4	+7.1	+1.4	△6.5	△4.0	△3.7	+0.4	△11.3	△10.5	△11.2	△9.4	△0.7	+6.2	△0.3
アミューズメント	△6.3	△6.6	△18.3	+46.6	+12.0	△6.2	+11.5	+0.1	△6.8	△10.8	△9.8	+0.0	△1.1	△10.7	△1.7	+2.2	△7.2	+5.5	+5.0	+1.3
カラオケ	-	-	-	-	-	-	△4.5	+4.0	△1.2	△7.3	△13.1	+3.4	+15.8	△3.7	△1.8	+0.4	△7.4	+0.6	+1.6	△1.3
スポッチャ	-	-	-	-	-	-	-	-	△16.1	△9.8	△9.2	△4.5	+7.5	+0.2	+5.1	+3.7	+5.0	△2.5	+8.1	△0.9
その他	+13.9	+37.3	+7.8	+21.5	+13.7	△14.3	△11.3	△9.2	+13.2	+11.4	△3.9	△14.5	+1.3	△6.6	△9.9	△1.8	+9.9	+1.2	+0.7	△0.7
総売上	△7.6	△5.0	△9.5	+23.1	+8.3	△9.1	+11.6	+2.0	△4.0	△8.5	△7.7	△2.2	+1.7	△9.0	△4.2	△2.3	△5.6	+1.9	+5.3	+0.2
既存店舗数	10	19	25	38	39	40	46	57	69	79	89	104	106	108	111	111	112	105	107	105

(単位：%)

既存店国内売上前年比の推移 (2019年3月期を100とした場合)



【注意】 カラオケ売上は2001年3月期から2005年3月期までは『その他』に含まれております。

【注意】 米国店舗は含んでおりません。

# 資産等の推移(連結)



※1億円未満切捨、%は四捨五入表示

3月期	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 計画
総資産	2,512億円	2,521億円	2,282億円	2,062億円	1,271億円	1,115億円	1,045億円	1,017億円	1,068億円	1,144億円
純資産	856億円	790億円	798億円	787億円	575億円	516億円	497億円	508億円	567億円	611億円
自己資本比率	34.1%	31.3%	35.0%	38.2%	45.3%	46.3%	47.6%	50.0%	53.0%	53.4%
現預金残高	308億円	227億円	294億円	253億円	251億円	277億円	231億円	201億円	234億円	242億円
有利子負債残高	1,388億円	1,361億円	1,109億円	902億円	368億円	270億円	228億円	164億円	137億円	113億円
保証債務残高 ①	318億円	82億円	—	—	—	—	—	—	—	—
実質有利子負債残高 ②	1,398億円	1,216億円	814億円	649億円	116億円	△6億円	△3億円	△37億円	△97億円	△129億円
リース債務残高	259億円	284億円	273億円	246億円	196億円	163億円	160億円	179億円	155億円	210億円
リース債務含実質有利子負債残高 ③	1,658億円	1,501億円	1,088億円	895億円	312億円	156億円	156億円	142億円	58億円	81億円
当該年度新規リース契約額	122億円	137億円	106億円	91億円	81億円	71億円	88億円	109億円	80億円	155億円

(注) ① 保証債務とは、子会社にて調達した開発期間中のローンに対してラウンドワンが連帯保証するものです。これらは店舗のオープン時期にローンが返済されるため、保証債務は無くなりますが、通常は長期ローンに切り替わる事により有利子負債に計上されます。

② 『実質有利子負債残高』 = (『有利子負債残高』 + 『保証債務残高』) - 『現預金残高』

③ 『リース債務含実質有利子負債残高』 = 『実質有利子負債残高』 + 『リース債務残高』

※ 上記のリースとはアミューズメント機器やカラオケ設備等のファイナンス・リースです。

# 既存店舗売上対策

## ◆小中学生無料キャンペーン◆

- ・ボウリング、カラオケ、アミューズメント（メダル）にて中学生以下を対象に引き続き継続中

## ◆イベント実施◆

- ・現在人気急上昇中の『BiSH』と『ハローキティ』とのコラボキーホルダーと『ゴールデンボンバー』のキーホルダーを月替わりで配布（7月～）  
（ボウリング・カラオケ・スポッチャの6人以上の利用者限定）
- ・イベント達成者へ1,000円キャッシュバック  
ボウリング：レッドピンチャレンジやビンゴチャレンジなど  
カラオケ：採点ゾロ目チャレンジ

## ◆キャンペーン実施◆

- ・6月より、生ビールやハイボールなどのアルコール（種類限定）を1杯100円で提供する『ラウンドワンDE乾杯』を、19店舗限定から全店導入へ  
（※カラオケ、フードコート未設置店舗は除く）
- ・7月よりボウリング、カラオケ、スポッチャにてアイスを100円で販売開始

## ◆健康ボウリング教室（各店舗150名のリーグボウラーを育成）◆

- ・各店舗150名のボウラー×104店舗＝1.6万人が目標（現時点では1.4万人）

## ◆ボウリング マスターズカップがリニューアル◆

- ・“40歳以上”という参加条件をなくし、新たに『ラウンドワンクラシック』としてリニューアル。  
6月よりフリータイムコンペによる予選がスタート予定

## ◆アミューズメントの新機種導入◆

- ・『UFO CATCHER TRIPLE TWIN』（セガ）5月末より順次導入予定
- ・『Fate/Grand Order Arcade』アーケードゲーム（セガ）7月末より順次導入予定
- ・『オンゲキ』音ゲー（セガ）7月末より順次導入予定

## ◆DARTS LIVEの新機種導入◆

- ・『DARTS LIVE3』4/18より20店舗に26台導入済み



『UFO CATCHER TRIPLE TWIN』  
©SEGA



『Fate/Grand Order Arcade』 ©SEGA



『オンゲキ』 ©SEGA

## ◆自動受付清算機の導入◆

【全部門（AMを除く）にて、受付・清算を自動受付清算機によりセルフ化】

- フロントは無人とし、必要な際はスタッフ呼出機能にて対応  
⇒・受付、待ち時間帯の予約受付、クラブ入会/更新、競技会予約/受付、チェックアウトの操作をお客様にて実施  
・ボウリングはレーン割付も自動。カラオケはお客様にてルームを選択
- 料金は前払い制を基本とする

【スタッフタブレット導入により業務の効率化】

- お客様の施設利用状況が分かるスタッフタブレットを同時に導入することで、スタッフが必要な情報を端末上で把握できる  
⇒・インカム、スコアラー、オーダーリング、待ち呼び、その他のシステムと連動し、必要な時だけ必要な場所へスタッフが対応に向かうことが可能

## ◆新システム『(仮称)ラウンドワンLIVE』の導入◆（ボウリング・カラオケにて実施）

【ボウリングエリアの全面リニューアル】

- 個室的空間の確保  
⇒・新ボウラーズベンチの導入や各レーンへ32インチタブレットの設置
- 圧倒的な迫力と臨場感を演出  
⇒・大型のマスキングモニター、オーバーヘッドモニター、ベンチモニター等の設置  
⇒・手元の3面モニターで様々なLIVEコンテンツを楽しめ、離れている相手と一緒にいるかのような感覚でプレーが可能

【少人数～大人数まで、繋がることで楽しめる機能や特典を多数搭載】

- 映像・音声を繋げて遊ぶ複数のコンテンツ  
⇒・友達、同僚との映像通話を楽しみながら遊べるLIVEモード  
・1レーン(ルーム)対1レーン(ルーム)でスコアを競うバトルゲームや複数グループでのトーナメント機能
- 主役にも視聴者にもなれるLIVE配信コンテンツ  
⇒・誰でも気軽に主役になれるLIVE配信機能  
・アイドルやタレントが主催するファンミーティングや、プロボウラーへ挑戦するLIVEチャレンジ

## ◆導入時期◆

2018年12月～2019年6月にかけて順次導入予定

# 出店計画



## 2019年3月期のオープン予定店舗

(米国：年間10店舗以上の出店を目標)

	オープン予定時期	出店国	店舗名 / 出店予定地域	店舗タイプ	営業面積
1	2018年 6月	米国	(仮称)メイン店/メイン州ポートランド	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,238坪
2	2018年 6月	米国	(仮称)コロナド店 / ニューメキシコ州アルバカーキ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,363坪
3	2018年 7月	米国	(仮称)サウスタウンセンター店 / ユタ州サンディ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,346坪
4	2018年 7月	日本	奈良ミ・ナラ店/奈良県奈良市	スタジアム・ロードサイド(大型モール内)	3,666坪
5	2018年 7月	米国	(仮称)ノースリッジ店/カリフォルニア州サリナス	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,473坪
6	2018年 8月	米国	(仮称)ミルクリーク店 / ペンシルベニア州エリー	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,426坪
7	2018年 秋頃	米国	(仮称)ノースリバーサイド店 / イリノイ州ノースリバーサイド	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,288坪
8	2018年 冬頃	米国	(仮称)ジェファーソン店/ケンタッキー州ルイビル	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,529坪
9	2018年 冬頃	米国	(仮称)サウスリッジ店 / ウィスコンシン州グリーンデール	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,329坪
10	2018年 冬頃	米国	(仮称)サウスランド店/カリフォルニア州ヘイワード	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,396坪
11	2019年 春頃	米国	(仮称)テムキュラプロムネード店/カリフォルニア州テムキュラ	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,407坪
12	2019年 春頃	米国	(仮称)ホールヨーク店/マサチューセッツ州ホールヨーク	スタンダード・ロードサイド(大型モール内)	1,474坪

## 2020年3月期以降のオープン予定店舗

	オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域		オープン予定時期	店舗名 / 出店予定地域
1	2019年 春頃	(仮称)ゲートウェイ店 / ネブラスカ州リンカン	5	2019年 秋頃	(仮称)メドーズ店 / ネバダ州ラスベガス
2	2019年 春頃	(仮称)パーバンク店 / カリフォルニア州パーバンク	6	2019年 冬頃	(仮称)ローズビル店 / カリフォルニア州ローズビル
3	2019年 秋頃	(仮称)タウソントウンセンター店/メリーランド州タウソン	7	2019年 冬頃	(仮称)パークプレイス店 / アリゾナ州トゥーソン
4	2019年 秋頃	(仮称)メドウッド店/ネバダ州リノ			

※ 現在リース契約締結交渉中が17店舗（2019年春以降）であります。  
 ※ 出店計画は本資料開示時点で賃貸借契約締結済店舗の情報を記載しており、業績計画に記載の出店数とは異なります。



# 米国店舗の現況と今後の出店方針

## 【2018年4月末現在営業中の21店舗】

	オープン時期	店舗名 / 地域	店舗タイプ	営業面積	収支状況
1	2010年 8月	プエンテヒルズ店 / カリフォルニア州ロサンゼルス	スタンダード・ロードサイド (プエンテヒルズモール内)	1,686坪	好調店舗
2	2012年 9月	モレノパレー店 / カリフォルニア州リバーサイド	スタンダード・ロードサイド (モレノパレーモール内)	1,249坪	平均店舗
3	2013年 8月	レイクウッド店 / カリフォルニア州レイクウッド	スタンダード・ロードサイド (レイクウッドセンターモール内)	1,223坪	好調店舗
4	2014年 10月	ストラットフォード店 / イリノイ州シカゴ	スタンダード・ロードサイド (ストラットフォードスクエアモール内)	1,121坪	低調店舗
5	2014年 12月	アーリントン・パークス店 / テキサス州アーリントン	スタンダード・ロードサイド (ザパークスモールアットアーリントン内)	1,824坪	平均店舗
6	2015年 5月	メインプレイス店 / カリフォルニア州サンタアナ	スタンダード・ロードサイド (メインプレイスモール内)	1,143坪	好調店舗
7	2015年 7月	サウスセンター店 / ワシントン州シアトル	スタンダード・ロードサイド (サウスセンターモール内)	1,171坪	平均店舗
8	2015年 9月	イーストリッジ店 / カリフォルニア州サンノゼ	スタンダード・ロードサイド (イーストリッジモール内)	1,463坪	好調店舗
9	2015年 12月	シルバーシティ店 / マサチューセッツ州タウントン ※	スタンダード・ロードサイド (シルバーシティガレリアモール内)	1,818坪	平均店舗
10	2016年 5月	グレイプバインミルズ店 / テキサス州ダラス ※	スタンダード・ロードサイド (グレイプバインミルズモール内)	2,285坪	好調店舗
11	2016年 8月	サンパレー店 / カリフォルニア州コンコード	スタンダード・ロードサイド (サンパレーモール内)	1,329坪	好調店舗
12	2016年12月	エクストン店 / ペンシルベニア州エクストン	スタンダード・ロードサイド (エクストンスクエアモール内)	1,673坪	低調店舗
13	2017年 1月	サウスウエスト店 / コロラド州リトルトン	スタンダード・ロードサイド (サウスウエストプラザ内)	1,857坪	平均店舗
14	2017年 3月	ストーンクレスト店 / ジョージア州リソニア	スタンダード・ロードサイド (ストーンクレストモール内)	1,420坪	低調店舗
15	2017年 3月	フォックスパレー店 / イリノイ州オーロラ	スタンダード・ロードサイド (フォックスパレーモール内)	1,453坪	低調店舗
16	2017年 7月	ブロードウェイ店 / ニューヨーク州ヒックスビル	スタンダード・ロードサイド (ブロードウェイモール内)	1,422坪	好調店舗
17	2017年 9月	クリスタルランガレリア店 / ニューヨーク州ミドルタウン	スタンダード・ロードサイド (クリスタルランガレリアモール内)	1,295坪	平均店舗
18	2017年10月	グレイトレイクスクロッシング店 / ミシガン州オーバーンヒルズ	スタンダード・ロードサイド (グレイトレイクスクロッシングモール内)	1,454坪	好調店舗
19	2017年11月	ノースウッド店 / イリノイ州ピオリア	スタンダード・ロードサイド (ノースウッドモール内)	1,653坪	平均店舗
20	2018年1月	フォーシーズンズ店 / ノースカロライナ州グリーンズボロ	スタンダード・ロードサイド (フォーシーズンズモール内)	1,734坪	好調店舗
21	2018年3月	グレイトレイクス店 / オハイオ州メンター	スタンダード・ロードサイド (グレイトレイクスモール)	1,433坪	好調店舗

表の区分『好調店舗』と『平均店舗』と『低調店舗』に色分けしております。色分けは年2回、5月と11月開示資料で更新致します。

※一部のエリアにて、キッズプレイゾーン事業を行っております。グレイプバインミルズ店2016年10月、シルバーシティ店2017年3月より開始。

# 米国店舗の現況と今後の出店方針



## 【今後の出店方針の概要】

出店候補地	全米の既存大型ショッピングモール内への直営による居抜き出店(出店対象となるモールは全米で約900施設)
営業面積	42,000SQF(約1,200坪)~64,000SQF(約1,800坪)
商圈人口	半径5マイル(約8km)・・・15万人以上、半径10マイル(約16km)・・・40万人以上
対象顧客	ショッピングモールへの来店客(夜間は大学生を中心とした若年層) ※男女比は50%:50%を想定
平均客単価	約14ドル(1,540円)
売上構成	アミューズメント・・・約66%、ボウリング・・・約16%、飲食・・・約14%、カラオケ(飲食除く)・・・約1%、その他・・・約3%
投資額	約720万ドル(約7.8億円)・・・うちリース約200万ドル(約2.1億円)、現金約520万ドル(約5.6億円) 内訳:内装関連・・・約2.8億円、什器備品等・・・約1.4億円、アミューズメント機器(リース)・・・約2.1億円、ボウリング機器・・・約0.8億円、開業費等・・・約0.7億円
リース費用特性	7年償却(アミューズ機器は今期より3年から7年へ変更) ⇒8年目以降はリース料負担が軽減されるために利益額(利益率)が向上

※参考:1 SQF(スクエアフィート) = 約0.0281坪、1マイル = 約1.6Km、1ドル = 109円で計算

## 【現状：設備投資額及び収支状況】 ※数値は年1回決算時に更新致します。

区分		好調店舗	平均店舗	低調店舗
年間 収 支	総売上	740万ドル(約8.1億円)	600万ドル(約6.5億円)	380万ドル(約4.1億円)
	営業利益(初年度)	110万ドル(約1.2億円)	30万ドル(約0.3億円)	△100万ドル(約△1.1億円)
	営業利益(2~7年度)	200万ドル(約2.2億円)	120万ドル(約1.3億円)	△10万ドル(約△0.1億円)
	営業利益(8年度~)	220万ドル(約2.4億円)	140万ドル(約1.5億円)	0万ドル(約0.0億円)
	営業利益率 (2年~7年度)	27.0%	20.0%	△2.6%

(注1) 初年度の営業利益は開業費、会計上の工事期間賃料を含みます。本社費は除きます。(注2) 平均店舗は全店舗での平均値であります。

# 店舗の状況



## 出退店・期末店舗数の推移

日本	～2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (計画)
出店数	101	11	3	1	3	—	2	1	2	1	1
退店数	※ 7	—	—	—	※ 1	—	—	※ 1	※ 8	—	※ 3
期末店舗数	94	105	108	109	111	111	113	113	107	108	106

米国	～2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (計画)
出店数	—	—	1	—	1	1	2	4	6	6	11
退店数	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
期末店舗数	—	—	1	1	2	3	5	9	15	21	32

連結	2009年3月期	2010年3月期	2011年3月期	2012年3月期	2013年3月期	2014年3月期	2015年3月期	2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期 (計画)
期末総店舗数	94	105	109	110	113	114	118	122	122	129	138

※ 20店舗の退店理由（契約期間満了：7店舗、自社競合解消：6店舗、近隣に大型店を新築：3店舗、建替：1店舗～、テスト店舗の閉鎖（テスト期間2年）：1店舗）

## 日本国内108店舗内訳（2018年3月末現在）

※米国店舗は、スタンダードタイプのロードサイド店舗であり、賃借のみであります。

形態別				期末店舗数	区分別		期末店舗数
スタンダードタイプ		スタジアムタイプ			賃借店舗	所有店舗	
繁華街店舗	ロードサイド店舗	繁華街店舗	ロードサイド店舗				
10	51	1	46	108	84	24	108

（注）所有店舗には、土地建物所有の8店舗と借地権付建物所有の16店舗を含んでおります。

## 国内外エリア別129店舗内訳（2018年3月末現在）

出店エリア	日本								米国	合計
	北海道・東北	北陸・甲信越	関東	中部・東海	関西	中国・四国	九州・沖縄	合計		
店舗数	11	4	33	12	29	8	11	108	21	129
シェア	8.5%	3.1%	25.6%	9.3%	22.5%	6.2%	8.5%	83.7%	16.3%	100.0%

# 各種お知らせとIRに関するお問い合わせ先



## 本資料取扱上のご注意

本資料は投資の勧誘を目的としたものではありません。また、本資料により被った全ての損害について、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません。なお、本資料は作成日現在の情報をベースにしており、その作成には細心の注意を払っておりますが、その内容についてその実現を保証するものではなく、万が一内容に誤りがあった場合においても、当社及び当社の情報提供者は一切の責任を負いません（万が一、数値等に誤りを発見した場合には、ホームページ上にて訂正させていただきます）。本資料のいかなる部分も一切の権利は株式会社ラウンドワンに帰属しており、いかなる目的であれ無断で複製又は転送等を行わないようお願いいたします。

## IR方針(サイレンス期間)について

当社では、投資家の皆様への公平を期するため、原則として決算発表（四半期決算を含む）の約2週間前よりIRに関する取材をご遠慮頂いております。ただし、事業に関する基本的な内容、過去に発表済の内容、及び現在進行中のイベントや企画に関するお問い合わせや取材等はお受けいたします。以上、皆様のご協力をご理解をよろしくお願い申し上げます。

## ホームページへのアクセス先

◎【PC用・スマートフォン用ホームページ】

<http://www.round1.co.jp/> もしくは

◎【携帯用ホームページ】（お客様用/IR情報等なし）

docomo、Soft Bank、au

<http://www.round1.co.jp/mobile/>

※ 携帯電話からの携帯用ホームページへの接続料や通信料(パケット料)はお客様のご負担となりますので、ご注意願います。一部の機種では、モバイルサイトをご覧いただけない場合がございます。



IRお問い合わせ先：株式会社ラウンドワン 管理本部 TEL (072)224-5115